

私たちの町内会 vol.35

町下町内会

人口 1,369人
世帯数 553世帯

会長
遠藤 光雄さん



新年、明けましておめでとございます。
ご家族おそろいで輝かしい新しい年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

町下町内会は、昭和32年に既存組織でありました興農実行組合から分離独立し、新たに町内会として発足以来、昨年60周年を迎えました。ここには、市役所・中央公民館・しんまち公園・小学校・幼稚園・保育所など、主要な公共施設があり、古くから市の中心地として立地しています。

当地区も社会の変革に伴い、宅地造成やアパート建設等により、多くの新規編入者がいます。混住化社会となり、大きく様変わりしました。町内会行事への参加や意志の統一などの課題もみえます。

私は、10代目の会長職を仰せつかっていますが、初代会長からの会の教訓である「近隣愛」を常時胸に刻み、役員一同、理解を深めるべく日夜活動しています。

町内会行事の一端を紹介させていただきます。1月には総会、6月、70歳以上対象の敬老の集い、10月、小・中学生対象のポウリング大会、12月、65歳以上対象の冬至力ボチャ。はっと汁を食する会のほか、毎月女性会員だけのどんぐり会等を開催し、老若男女バランスの取れた行事開催を心掛けています。

自然災害が多発しているなか、平成30年度からは、自主防災組織の体制を確立し、自助・共助・公助・さらには近助（所）を基本に会員総意のもと、防災訓練の実施を予定しています。

江戸時代に奥州街道の宿場町として栄えたとしんまち地区（町上・町中・町下）。2年後には開宿400年を迎えます。昔からにぎやかで活気があった中心街から、数多く存在した名門の「荷宿」「気仙屋」等々の屋号もほとんど消滅し一抹の寂しさを感じます。

本年度開設を予定の「仮称・富谷市まちづくり産業交流プラザ」を拠点に、しんまち地区の新たな再興を模索してまいります。